

## 「旭川市学校教育情報化推進計画（改訂案）」に対し寄せられた御意見と旭川市教育委員会の考え方

意見募集期間：令和7年1月20日から令和7年12月22日まで

意見提出数：3件（個人3件 団体0件）

※御意見については、原文どおりを基本としていますが、読みやすくするため一部を修正しています。

受付 番号	御意見	旭川市教育委員会の考え方
1	<p>学習指導要領（平成元年告示）において、各教科の指導での情報機器の活用が示された事から、本市では各学校へのコンピュータの導入を計画的に行い、学校規模に応じてコンピュータ教室に学習者用コンピュータ及び指導者用コンピュータを設置するとともに、校務用コンピュータに付いても整備を進めて来た。令和3年4月の1人1台端末の運用開始直後は、児童生徒や教員が先ず使って見ると言う所から始め、児童生徒は、オンライン学習ツールやデジタル教材を中心に端末に慣れ親しむとともに、教員は、本市教育委員会を中心とした研修を通して、クラウドの活用方法や授業におけるICTの効果的な活用等に付いて、理解を深めて行く。4段階の自己評価（「出来る」、「やや出来る」、「あまり出来ない」、「ほとんど出来ない」）において、本市教員の肯定的な回答（「出来る」、「やや出来る」）の割合は、令和元年度、令和5年度共に4項目全てにおいて全国平均を上回るとともに、肯定的な回答が増加している。今後も、児童生徒がICT機器を活用した学びの有用性を実感し、更に活用したいと言う意欲を高める事が出来る様、児童生徒の発達段階や健康面へ配慮し乍ら、学習場面に応じた効果的な活用方法を工夫する事が大切だ。教育の質の向上に向け、教員の児童生徒と向き合う時間を確保出来る様、校務の情報化に寄り業務の効率化を進めるとともに、家庭・地域にICTを活用した教育に付いて積極的に情報発信し、理解と協力を得て取組を推進する必要がある。本市では、令和元年度から、小学校においてプログラミング教育に先行的に取り組んでおり、「旭川市立小学校プログラミング教育の手引」を作成するとともに、プログラミングソフト「Scratch（スクラッチ）」や人型ロボット教材を導入し、各学校の学習を支援して来た。</p>	<p>御意見の内容につきましては、改訂案と同様の内容又は抜粋であることから、御賛同いただいたものと考えております。</p>

受付 番号	御意見	旭川市教育委員会の考え方
2	<p>情報通信機器の使い易さが向上しており、子供達にもスマートフォンやタブレット端末等のICT機器が急速に普及し、ICTを利用する時間は増加傾向に有る一方、授業においてコンピュータを使用する児童生徒の割合は、OECD加盟国で最も低い水準に有る。オンライン学習支援ソフトウェアは、各教科の教材が豊富で習熟の程度に応じた問題を児童生徒が選択して取り組んだり、教員が教材をプリントアウトしたりする事が出来、之迄、各学校での授業や、新型コロナウイルス感染症に係る臨時休業中の家庭学習においても活用されて来た。文部科学省では毎年、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」を実施しており、教員が「教材研究・指導の準備・評価等にICTを活用する能力」、「授業中にICTを活用して指導する能力」、「児童生徒のICT活用を指導する能力」、「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」の4項目について自己評価（4段階）を行っている。1人1台端末の導入後、児童生徒が授業でICT機器を活用する機会が増える事で、分からない事があった時にすぐ調べる事が出来る事や、友達と考えを共有したり比べたりし易くなる、友達と協力し乍ら学習を進める事が出来る等の肯定的な回答の割合が高くなっている。情報教育に関わっては、令和3年1月の中央審議会答申において、情報化が加速度的に進むSociety5.0時代に向けて、情報活用能力等学習の基盤となる資質・能力を育む必要が有り、その際、児童生徒が1人1台端末環境を活かし、端末を日常的に活用する事で、ICTの活用が特別な事では無く、「当たり前」の事となる様にする事や、ICTを学習ツールとして自由な発想で活用出来る様環境を整える事の重要性が示された。各教科の授業において、ICTを活用した学習活動を効果的かつ円滑に進める為には、児童生徒の発達段階を踏まえ、ICT端末の基本的な操作方法を確実に身に付ける必要が有る。スマートフォンやタブレット端末が児童生徒の日常生活にも急速に普及しており、インターネットの利用も多くなっている。</p>	<p>御意見の内容につきましては、改訂案と同様の内容又は抜粋であることから、御賛同いただいたものと考えております。</p>

受付 番号	御意見	旭川市教育委員会の考え方
3	<p>今回の計画は学校教育における情報化というテーマではありますが、生涯学習という面からも使えるテーマがある様にも思えます。</p> <p>今後、例えば集会施設での生涯学習の情報化といったテーマに関しても一考すべきです。</p>	<p>御意見については、今後の参考とするため、関係部局と共有させていただきます。</p>